

年間授業計画

大泉桜 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：前澤）（2組：佐々木直子）（3組：前澤）（4組：佐々木直子）（5組：佐々木直子）

使用教科書：（大修館書店 言語文化）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切につかうことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や判断力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
言語文化への視点 【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解しようとしている。 我が国の言語文化の特質や我が国と外国の文化の関係について理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ内容を解釈しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	世界を見わたす窓 言語と文化の関係について理解する				○				4
古典入門 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解しようとしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、古典特有の表現などについて理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。	宇治拾遺物語/児のそら寝 古文の文体になれる 作者の伝えたいことを読み解く				○				4
定期考査									1
言葉の紡ぐ世界 【知識・技能】 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使おうとしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	羅生門 『今昔物語集』巻第二九第一八 作品の構成や展開をとらえる 語り手に着目する				○				6
古文に親しむ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解しようとしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、古典特有の表現などについて理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。	宇治拾遺物語/絵師良秀 古文の文体になれる 作者の伝えたいことを読み解く				○				4
定期考査									1
伝統と発展 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語感を磨き、語彙を豊かにしようとしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本人と西人の美意識の違いについて学習した内容をもとにして、自らの「美」に対する考え方を深めようとしている。	実体の美状況の美 作品における自然や美の捉え方について理解を深める 作品における表現の仕方に着目する。				○				4

2 学 期	<p>人との交わり</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。 	伊勢物語 芥川/筒井筒 古人の生活やぶんかについて理解を深める 古人にとっての歌の役割をとらえる			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。 				6
	定期考査								
2 学 期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。 ・物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。 	平家物語 歴史的な記録と、語り伝えられる物語との違いをとらえる			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。 ・物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。 				6
	定期考査								
3 学 期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。 	蛇足(戦国策)/完璧(十八史略) 故事成語の意味や背景について理解を深める 作者が話しに込めた意図を読み取る			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、独特のリズムをもつ文体を味わおうとしている。 				8
	定期考査								
3 学 期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。 	城崎にて 主人公の心情の変化を動物や自然の関わりから理解する。			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。 				8
	定期考査								
合計									
61									

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

科目 歴史総合

教科： 地歴公民

科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：内田） （2組：内田） （3組：長澤） （4組：長澤） （5：長澤） （組：）

使用教科書：（明解 歴史総合 帝国書院）

教科 地歴公民

の目標：

【知識及び技能】資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】複数の資料の関係に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し表現する。

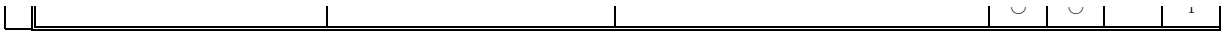
【学びに向かう力、人間性等】知識・思考力等を身に付けることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整していく。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象をもとに、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。	近代化・国際秩序の変化や大衆化・グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、知識及び技能で取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。	知識及び技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身に付けることに向けた粘り強い取り組みを行う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	グローバル化の中の世界と日本 ・冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ・冷戦の変容と終結の背景等に着目し、地域相互の関連性を考察する。 ・知識、技能等の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	指導内容 ・ロシアのウクライナ侵攻を、冷戦の展開と終結の過程を関連付けて考える。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）	・冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解できたか。 ・冷戦の開始から終結までの展開と、ロシアのウクライナ侵攻を関連付けて考察できたか。 ・ロシアのウクライナ侵攻の背景を、読み取ろうと努力したか。	○	○	○	6
	アジア諸国の動揺と日本の開国 ・18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・アジア諸国と欧米諸国との関係の変容等を考察し、表現する。 ・知識、技能等の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	指導内容 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り理解する。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）	・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容を、資料等から読み取ることができたか。 ・アジア諸国の変容を、比較したり関連付けて考察できたか。 ・欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代に与えた影響を追及しようとしたか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	近代化が進む日本と東アジア ・日本の明治維新等を基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・政治変革の特徴、国民国家の特徴等を、多面的に考察する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	指導内容 ・明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り理解する。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）	・日本とアジア諸国の変化について、資料や本文から読み取り理解できたか。 ・明治維新という事象及び後世への影響について、見解を表現できたか。 ・明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしたか。	○	○	○	7
	近代化が進む日本と東アジア ・日清、日露戦争等を基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容等を考察する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	指導内容 ・日清、日露戦争の経緯と、その影響について考察する。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）	・日清、日露戦争の経緯とその影響について理解できたか。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容を、多面的に考察して表現できたか。 ・日清、日露戦争の影響について、積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第一次世界大戦と日本の対応 ・第一次世界大戦の展開や国際連盟の成立等を基に、総力戦と戦後の国際協調を理解する。 ・第一次世界大戦の性格を、多面的に考察し表現する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	指導内容 ・国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯を理解する。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）	・第一次世界大戦の経緯と、参戦国の社会の変化について十分理解できたか。 ・様々な立場の人々が、どのような目的で戦争に協力したかについて考察できたか。 ・国際秩序と大衆の戦争参加が現代社会に与えた影響について追及しようとしたか。	○	○	○	7
	国際協調と大衆社会の広がり ・大正デモクラシーと政党政治等を基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・第一次大戦後の社会の変容と社会運動の関連等を考察する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	指導内容 ・ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた変化について理解する。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）	・ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序が十分理解できたか。 ・新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、見解を表現できたか。 ・国際秩序の成立と大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしたか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	日本の行方と第二次世界大戦 ・世界恐慌等を基に、国際協調体制の動揺を理解する。 ・各国の世界恐慌への対応等を、多面的に考察し表現する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	指導内容 ・世界恐慌後の各国の政治判断が、現代社会に与えた影響について理解する。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）	・世界恐慌およびその後の各国の政治判断が、現代社会に与えた影響について理解できたか。 ・各国の世界恐慌への対応等を、多面的に考察して表現できたか。 ・世界恐慌発生の要因について、理解しようとしたか。	○	○	○	7
日本の行方と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦の展開と戦後の国際秩序を理解する。 ・第二次世界大戦の推移と戦後の社会に与えた影響等を、多面的に考察し表現する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	指導内容 ・世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、資料を読み取り理解する。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）	・世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、資料を読み取り理解できたか。 ・第二次世界大戦が社会に与えた影響などを、多面的に考察し表現できたか。 ・第二次世界大戦が元代に与えた影響について、理解しようとしたか。	○	○	○	5	
定期考査			○	○		1	



3 学 期	<p>グローバル化と私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から情報を読み取る、まとめる等の技能を身に付ける。 ・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問を表現する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。 	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化等各地域を比較して考察する。 使用教材 ・明解歴史総合（帝国書院） ・明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院） 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化の特質について、資料や本文から読み取り理解する。 ・グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について、各地を比較して考察する。 ・グローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとした。 	○	○	○	14	
	定期考査						1	
							合計	70

大泉桜高等学校 令和5年度（1学年用） 数学 科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (12a組：谷藤) (1b組：菊地久) (2b組：上田) (34a組：谷藤) (3b組：菊地久) (4b組：上田)
(5a組：谷藤) (5b組：上田)

使用教科書： (数研出版 新編数学 I)

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
数と式 (1) 【知識及び技能】 単項式、多項式の次数、係数について理解を深め、同類項をまとめる演算、分配法則・公式による展開、因数分解などができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 式の計算に関心をもち、より良い方法について考察しようとする。	第1節 式の計算 1 多項式の加法と減法 単項式、多項式の次数、係数の確認・同類項をまとめる計算を行う。 2 多項式の乗法 二次の乗法公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりする。 分配法則により、展開できるようにする。公式や置き換えを利用して、手際よく展開することも知る。 3 因数分解 因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりする。 ・教科書、問題集、Webドリル	【知識・技能】 ○単項式や多項式、同類項、次数など式に関する用語を理解している。 ○多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 ○多項式の加法、減法の計算ができる。 ○指数法則を理解し、多項式の乗法の計算ができる。 ○展開の公式を利用できる。 ○式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式が適用できるようにすることができる。 ○因数分解の公式を利用できる。 ○因数分解を行うのに、文字のおき換えを利用することができる。 【思考・判断・表現】 ○式の展開は分配法則を用いると必ずできることを理解している。 ○式を1つの文字におき換えることによって、式の計算を簡略化することができる。 ○複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。 ○式の形の特徴に着目して変形し、因数分解の公式が適用できるようにすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。 ○多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心をもち、考察しようとする。 ○式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとする。 ○展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
数と式 (2) 【知識及び技能】 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を	第2節 実数 4 実数 5 根号を含む式の計算 中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていること、乗除の法則が成り立つこと、	【知識・技能】 ○分数を循環小数で表すことができる。 ○有理数が整数、有限小数、循環小数のいずれかで表される理由を理解している。 ○有理数、無理数、実数の定義を理解し、それぞれの範囲での四則計算の可能性について理解している。 ○分数の乗除の意味と記号を正しく理解している。				

1 学期	<p>求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまで学習してきた内容を生入りするとともに新たに学習した内容について考察すること。</p>	<p>ることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようになる。</p> <p>第3節 一次不等式 6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式</p> <p>不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。</p> <p>・教科書、問題集、Webドリル</p>	<p>○絶対値の意味と記号表示を理解している。 ○平方根の意味、性質を理解している。 ○根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 ○分母に根号を含む式は、分母を有理化して扱うことができる。 ○不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 ○不等式の性質を理解している。 ○不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ○連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 ○絶対値の意味から、絶対値を含む方程式、不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。 ○実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線を関係つけて考察することができる。 ○根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 ○$A < B < C$ を $A < B$ かつ $B < C$ として捉えることができ、不等式を解くことができる。 ○身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。 ○絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。 ○根号を含む式の計算公式を証明しようとする。 ○対称式の値の求め方に興味を示し、自ら考察しようとする。 ○循環小数が分数で表現できることに興味をもち、考察しようとする。 ○不等式の性質について、等式における性質と比較して、考察しようとする。 ○不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察しようとする。 ○絶対値記号を含むやや複雑な方程式や不等式を解くことに取り組む意欲がある。 ○日常的な事象に1次不等式が活用できることに興味をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	15
定期考査				○	○	○	1
	<p>2次関数(1)</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 2次関数の最大値や最小値を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 放物線のもつ性質や、日常生活における関数に興味関心をもち、考察すること。</p>	<p>第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ</p> <p>2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。</p> <p>第2節 2次関数の値の変化 3 2次関数の最大・最小 4 2次関数の決定</p> <p>2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようになる。</p>	<p>【知識・技能】 ○$y=f(x)$ や $f(a)$ の表記を理解し、用いることができる。 ○与えられた条件から1次関数を決定することができる。 ○定義域に制限がある1次関数のグラフがかけ、値域が求められる。 ○$y=[ax]^2$, $y=[ax]^2+q$, $y=[a(x-p)]^2$, $y=[a(x-p)]^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 ○$[ax]^2+bx+c$ を $[a(x-p)]^2+q$ の形に変形できる。 ○平方完成を利用して、2次関数 $y=[ax]^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 ○放物線の平行移動や対称移動の一般公式を活用して、移動後の放物線の方程式を求めることができる。 ○2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 ○2次関数を $y=[a(x-p)]^2+q$ の形に式変形して、最大値、最小値を求めることができる。 ○2次関数の定義域に制限がある場合に、最大最小値を求めることができる。 ○2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 ○連立3元1次方程式の解き方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○2つの変量関係を関数式で表現できる ○2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 ○2次関数 $y=[ax]^2+bx+c$ のグラフを、$y=[ax]^2(2)$ のグラフをもとに考察することができる。 ○放物線の平行移動を、頂点の移動に着目し</p>	○	○	○	18

		<p>て、考察することができる。</p> <p>○2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。</p> <p>○具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。</p> <p>○定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。</p> <p>○2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に見られる関数の具体例を見つけて考察しようとする。</p> <p>○座標平面上の点と象限について、理解を深めようとする。</p> <p>○放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。</p> <p>○一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ について、頂点、軸の式を考察しようとする。</p> <p>○放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。</p> <p>○日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。</p> <p>○2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。</p>					
	定期考査		○	○			1
2学期	<p>2次関数(2)</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解すること。また、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>2次方程式と2次関数のグラフの関係性や、1次不等式と2次不等式の関連などに興味関心をもち、考察しようとする。</p>	<p>第3節 2次方程式と2次不等式</p> <p>5 2次方程式</p> <p>6 2次関数のグラフとx軸の位置関係</p> <p>7 2次不等式</p> <p>2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。</p> <p>○2次方程式において、判別式 $D=b^2-4ac$ の符号と実数解の個数の関係を理解している。</p> <p>○2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められる。</p> <p>○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数を求めることができる。</p> <p>○2次不等式を解くことができる。</p> <p>○2次不等式を利用する応用問題を解くことができる。</p> <p>○2次の連立不等式を解ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。</p> <p>○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、$D=b^2-4ac$の符号から考察することができる。</p> <p>○2次関数の値の符号と2次不等式の解を関連させて考察することができる。</p> <p>○2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。</p> <p>○1次の係数が$2b'$である2次方程式の解の公式を積極的に利用しようとする。</p> <p>○2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする。</p> <p>○1次関数と1次不等式の関係から、2次不等式の場合を考えようとする。</p> <p>○2次不等式で図を積極的に利用する。</p> <p>○身近な問題を2次不等式で解決しようとする。</p>	○	○	○	13

<p>集合と命題</p> <p>【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 命題と条件の違いや、命題と集合との関係について、積極的に理解しようとする。</p>	<p>1 集合 2 命題と条件 3 命題とその逆・対偶・裏 4 命題と証明</p> <p>集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・教科書、問題集、Webドリル</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○命題の真偽，反例の意味を理解し，集合の包含関係や反例を調べることで，命題の真偽を決定することができる。</p> <p>○必要条件，十分条件，必要十分条件，同値の定義を理解している。</p> <p>○条件の否定，ド・モルガンの法則を理解し，複雑な条件の否定が求められる。</p> <p>○命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し，真偽を調べることができる。</p> <p>○対偶による証明法や背理法のしくみを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○命題の真偽を，集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。</p> <p>○命題が偽であることを示すには，反例を1つあげればよいことが理解できる。</p> <p>○命題の条件や結論に着目し，命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することで，命題を証明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○命題と条件の違い，命題と集合との関係について積極的に理解しようとする。</p> <p>○条件を満たすものの集合の包含関係が，命題の真偽に関連していることに着目し，命題について調べようとする態度がある。</p> <p>○命題とその対偶の真偽の関係について考察しようとする。</p> <p>○直接証明法では難しい命題も，対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち，実際に証明しようとする。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>図形と計量</p> <p>【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p> <p>三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。</p> <p>正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し，三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，定理や公式として導くこと。</p> <p>図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。</p>	<p>第1節 三角比</p> <p>1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張</p> <p>三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比の相互関係などを理解できるようにする。また，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，三角比を活用して問題を解決する力を培う。</p> <p>第2節 三角形への応用</p> <p>4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角比の面積 8 空間図形への応用</p> <p>図形の構成要素間の関係を，三角比を用いて表現し定理や公式を導く力，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，正弦定理，余弦定理などを活用して問題を解決したりする力などを培う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○直角三角形において，正弦，余弦，正接が求められる。</p> <p>○三角比の定義から，辺の長さを求める関係式を考察することができる。</p> <p>○直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し，測量などの応用問題に利用できる。</p> <p>○三角比の相互関係を利用して，1つの値から残りの値が求められる。</p> <p>○$\sin[(90^\circ - \theta) = \cos \theta]$ などの公式が利用できる。</p> <p>○直角三角形の斜辺の長さを適当に変えて，三角比を考察することができる。</p> <p>○$\sin[(180^\circ - \theta) = \sin \theta]$ などの公式が利用できる。</p> <p>○$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において，三角比の値からθを求めることができる。また，1つの三角比の値からの残りの値を求めることができる。</p> <p>○$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の場合，1つの三角比の値から残りの値を求める問題では，三角比の符号に注意を払う必要があることを理解している。</p> <p>○正弦定理における$A=B=C=D$の形の関係式を適切に処理できる。</p> <p>○正弦定理を用いて，三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。</p> <p>○余弦定理を用いて，三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。</p> <p>○余弦定理や正弦定理を用いて，三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。</p> <p>○三角比を用いた三角形の面積を求める公式を理解している。</p> <p>○3辺が与えられた三角形の面積を求めることができる。</p> <p>○3辺が与えられた三角形の内接円の半径を求めることができる。</p> <p>○三角比を測量に応用できる。</p> <p>○正弦定理，余弦定理を空間図形の計量に応用できる。</p>				

		<p>○三角比を利用して、正四面体などの体積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角比の表から$\sin \theta$, $\cos \theta$, $\tan \theta$の値を読み取ることができる ○具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 ○三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 ○既知である鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 ○三角形の辺と角、外接円の半径の間に成り立つ関係式として、正弦定理を導くことができる。 ○正弦定理を測量に応用できる。 ○三角形の辺と角の間に成り立つ関係式として、余弦定理を導くことができる。 ○余弦定理を測量に応用できる ○正弦定理を $a : b : c = \sin A : \sin B : \sin C$としてとらえ、三角形の角の大きさについて考察することができる。 ○三角比と三角形の面積の関係を考察することができる ○三角形の面積を、決定条件である2辺とその間の角または3辺から求めることができる。 ○空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする ○三角比の相互関係を調べようとする ○これまでに学習している数や図形の性質に関する拡張と対比し、三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする ○三角比が与えられたときのθを求める際に、図を積極的に利用しようとする ○$\tan \theta$と直線の傾きの関係に興味をもち考察しようとする。 ○正弦定理の図形的意味を考察する。また、三角形の外接円、円周角と中心角の関係などから、正弦定理を導こうとする ○余弦定理の図形的意味を考察する。また、三平方の定理をもとに余弦定理を導こうとする ○三角形の解法について興味を示し、$\sin 75^\circ$なども求めようとする。 ○三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。 ○日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。</p>	○	○	○	20
<p>データの分析 【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすること。</p>	<p>1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 2つの変量の間の関係 6 仮説検定の考え方 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。</p>	<p>【知識・技能】 ○度数分布表、ヒストグラムについて理解している ○平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ○範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。また、データの散らばりを比較することができる。 ○箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。 ○ヒストグラムと箱ひげ図の関係について理解している。 ○偏差の定義とその意味を理解している。 ○分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらに関する公式を用いて、分散、標準偏差を求めることができる。 ○相関係数の定義とその意味を理解し、定義にしたがって求めることができる。 ○相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること、数値化して扱うことのよさを理解している。 ○分割表の意味を理解し、問題解決に活用することができる。 ○仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。 【思考・判断・表現】</p>				

<p>【学びに向かう力、人間性等】 統計の利便性について学び、具体的な事象において統計を積極的に活用しようとする事</p>		<p>○データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。 ○データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 ○データの中に他の値から極端にかけ離れた外れ値が含まれる場合について、外れ値の背景を探ることの利点を考察することができる。 ○変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するかを考察することができる。それらの性質を活用して平均値や分散を見通しよく計算することができる。 ○散布図を作成し、2つの変量間の相関を考察することができる。 ○データの相関について、散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確にとらえて説明することができる。 ○複数のデータを、散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析し、問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 ○不確実な事象の起こりやすさに着目し、実験などを通して、問題の結論について判断したり、その妥当性について批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 ○身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。 ○データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。 ○変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとする。 ○相関の強弱を数値化する方法を考察しようとする。 ○相関関係と因果関係の違いについて考察しようとする。 ○身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。</p>	○	○	○	6			
定期考査			○	○		<table border="1"> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td></tr> <tr><td>82</td></tr> </table>	1	合計	82
1									
合計									
82									

大泉高等学校 令和5年度（1学年用）教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1～5組女子：安海、鳴海、和田、町田）（1～5組男子：佐藤、鳴海、町田）

使用教科書： （なし）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

【思考力、判断力、表現力等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

【学びに向かう力、人間性等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

科目 体育 の目標：

Table with 4 columns: 【知識及び技能】、【思考力、判断力、表現力等】、【学びに向かう力、人間性等】 and a large text area for the overall objective of physical education.

Main table with 7 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 記時数. It details the curriculum for various sports like basketball, volleyball, badminton, and swimming.

<p>変化する心や身体状態に気持ち、仲間と自主的に関わり合えることができるようになる。実生活に生かす運動の計画では、お互いに応じて、健康の保持と維持と高められた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】身体づくりに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとするなど、一人一人の進いに応じた働きなどを大切にしようとするなど、話合いに貢献しようとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・ヨガ</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0	4	0
<p>H：体育理論【男女共修】 【知識及び技能】人間の歴史とともに始まり、その理が時代に応じて多様に変遷してきたことや我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際競争や世界平和と文化の交流に貢献し、共に世界の発展にも寄与している。ドローリングは、フェアラビリティの精神に反するなど能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わねばならない。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を見出し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようになる。</p>	<p>・スポーツの歴史</p> <p>・スポーツとは</p> <p>・オリンピック、パラリンピック</p> <p>・ドローリング</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0	5	0
<p>I：1人1台端末 バドミントン【男女共修】 【知識及び技能】安定したボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻守を行うことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアンプレを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の進いに応じた働きなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・基本的なパス</p> <p>・ドリブル</p> <p>・シュート</p> <p>・ゲームの理解</p> <p>・ゲーム</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0	12	0
<p>J：ネット型 バドミントン【男子】 【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻守を行うことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアンプレを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の進いに応じた働きなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・基本的な打ち方</p> <p>・シングルのルールの違い</p> <p>・ゲームの理解</p> <p>・ゲーム</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0	12	0
<p>K：器械運動【女子】 【知識及び技能】回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や飛技を行うこと及びそれらを構成し演技することができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】技などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を演じたいという気持ちで、互いに助け合い教え合おうとするなど、一人一人の進いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・前転、後転、開脚前転、開脚後転、側転、ロンダート 等の基本的な技</p> <p>・倒立、倒立前転、ハンドスプリング、パイク等 の技</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0	12	0
<p>L：ゴール型 バスケボール【男子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4ローテ</p> <p>【知識及び技能】安定したボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻守を行うことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアンプレを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の進いに応じた働きなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・基本的なパス</p> <p>・ドリブル</p> <p>・レイアップシュート</p> <p>・ゲームの理解</p> <p>・ゲーム</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0		0
<p>M：ネット型 バレーボール【男子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4ローテ</p> <p>【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻守を行うことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアンプレを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の進いに応じた働きなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・基本的なパス</p> <p>・スパイク</p> <p>・サーブ</p> <p>・ゲームの理解</p> <p>・ゲーム</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0		0
<p>N：ベースボール型 キックベース【女子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4ローテ</p> <p>【知識及び技能】状況に応じた意思での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻守をこなすことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアンプレを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の進いに応じた働きなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・基本的なキャッチボール</p> <p>・捕球の仕方</p> <p>・キック</p> <p>・ゲームの理解</p> <p>・ゲーム</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールの高さをコントロールしてボールを相手側のコートに空いた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0		0
<p>P：ネット型 卓球【女子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4ローテ</p> <p>【知識及び技能】役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻守を行うことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアンプレを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の進いに応じた働きなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・基本的な打ち方</p> <p>・シングルのルールの違い</p> <p>・ゲームの理解</p> <p>・ゲーム</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0		0
<p>Q：身体づくり運動【男女共修】 【知識及び技能】身体づくしの運動では、手軽な運動を行い、心体は互いに影響し変化することや心身の状態に気持ち、仲間と自主的に関わり合えることができるようになる。実生活に生かす運動の計画では、お互いに応じて、健康の保持と維持と高められた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】身体づくりに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとするなど、一人一人の進いに応じた働きなどを大切にしようとするなど、話合いに貢献しようとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・縄跳び</p> <p>・色々な技の跳び方</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、実生活で運動を継続するには、行いやすいこと、無理のない計画であることなどが大切であること。運動は、仲間と協力して運動を達成すること、経験や挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり知り合ったりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】健康や安全を安全を確保するために、体力や体調に応じて運動の計画について振り返ることが出来る。また、体力の程度や性別等に配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】体づくりに自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0	6	0
<p>R：体育理論【男女共修】 【知識】現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることやスポーツの経済的な波及効果があること、スポーツの発展と社会との関係が明らかになること、スポーツが環境と社会への影響、スポーツが環境と社会への影響、一人1台端末の活用 等</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を見出し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようになる。</p>	<p>・スポーツ産業</p> <p>・スポーツと経済</p> <p>・スポーツが環境と社会への影響</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに空いた場所や離れた場所から打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたる場面や、よりよいプレーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に達した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0	6	0
<p>S：陸上競技【男女共修】 【知識及び技能】長距離走では、自己に最適なペースを維持して走ることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えを伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止める、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとするなど、一人一人の進いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど健康・安全を確保することができるようになる。</p>	<p>・時間走</p> <p>・距離走</p> <p>・記録会</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、陸上競技の各種目を用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあること。技能では、リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることや自己の体力や技術の程度に合ったペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ることが出来る。また、体力の程度や性別等に配慮して、仲間とともに陸上競技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアンプレを大切にしようとするなど作戦などについての話合いに貢献しようとする</p>	0	0	0	12	0
<p>T：ゴール型 バスケボール【男子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4ローテ</p> <p>【知識及び技能】安定したボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによってゴール</p>	<p>・基本的なパス</p> <p>・ドリブル</p>	<p>次の事項を身に付けることができることを評価基準とする。</p> <p>【知識及び技能】知識では、球技の各部の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、</p>	0	0	0		0

<p>3学期</p> <p>【への投入などから攻防をすることができるようになる。】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとする。健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアップシュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等 	<p>ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。</p>	○	○	○			
<p>D: ネット型 バレーボール【男子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4ローテ</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって狙った場所をめぐる攻防をすることができるようにする。】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとする。健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なパス ・スパイク ・サーブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等 	<p>次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。</p> <p>【知識及び技能】 知識では、球技の各型の種類において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに狙った場所やねらった場所に打り返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。健康・安全を確保することができるようにする。</p>	○	○	○			
<p>E: ベースボール型 キックベース【女子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4ローテ</p> <p>【知識及び技能】 状況に応じた走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって突撃をすることができるようにする。】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようになる。】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合おうとする。健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なキャッチボール ・捕球の仕方 ・キック ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等 	<p>次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。</p> <p>【知識及び技能】 知識では、球技の各型の種類において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールを打ち返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや作戦などの話し合いの場面、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えることができ、球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。健康・安全を確保することができるようにする。</p>	○	○	○			
<p>F: ネット型 卓球【女子】※人間と社会と授業を分けている体育のため、通年を通して同じ授業を4ローテ</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって狙った場所をめぐる攻防をすることができるようにする。】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとする。健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等 	<p>次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。</p> <p>【知識及び技能】 知識では、球技の各型の種類において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手側のコートに狙った場所やねらった場所に打り返すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。健康・安全を確保することができるようにする。</p>	○	○	○			<p>合計</p> <p>105</p>

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和5年度（1学年用） 保健体育科 科目 保健

教科：保健体育科 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：町田）（2組：町田）（3組：和田）（4組：町田）（5組：和田）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育科 の目標：

【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力ができる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力ができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当 時数
1 学期	・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに 応じた個人の取組が必要であることを指導す る。 ・交通事故を防止するには、車両の特性の理 解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他 の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関 わることを指導する。 ・交通事故には補償をはじめとした責任が生 じることが指導する。	・事故の原因と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全	・安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることを理解できる。 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解できる。 ・交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを理解できる。	○	○	○	3
	・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを指導する。 ・健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを指導する。	・健康の考え方や成り立ち ・私たちの健康のすがた	・国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できる。また、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解できる。 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解できる。 ・事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解できる。	○	○	○	7
	・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを指導する。	・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養、睡眠と健康	・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できる。 ・がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できる。 ・がんの回復においては、手術療法、化学療法（抗がん剤など）、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて理解できる。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できる。	○	○	○	4
・定期考査				○	○	○	1
2 学期	・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因になることを指導する。 ・薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことを指導する。 またそれらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを指導する。	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・健康精神疾患からの回復	・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できる。また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できる。その際、好奇心、自分自身を大切に思ふ気持ちの低下、周囲の人々の行動、マスメディアの影響、ニコチンやエチルアルコールの薬理作用などが、喫煙や飲酒の開始や継続の要因となることを理解できる。コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解できる。また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解できる。	○	○	○	4
	・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられることを指導する。 ・予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを指導する。	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症、エイズとその予防	・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できる。 ・交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できる。 ・エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できる。	○	○	○	4
	・健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを指導する。	・健康に関する意思決定、行動選択 ・健康に関する環境づくり	・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることを理解できる。 ・適切な意思決定や行動選択を行うには、十分に情報を集め、思考・判断すること、行動に当たっては自分なりの計画・評価を行うこと、及び社会的な影響に適切に対処することなどが重要であることについても理解できる。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることを理解できる。	○	○	○	2
・定期考査				○	○	○	1

			○	○	○	1	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であることを指導する。 疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の予防と回復には、身体健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解できる。 心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解できる。 人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどを理解できるようにする 	○	○	○	4
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できる。 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保、止血、固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができる。 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解し、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 	○	○	○	4
	<ul style="list-style-type: none"> 定期検査 			○	○	○	1
						合計	35